

辺野古の海を土砂で埋めるな！7.20 横浜集会

7月20日(金) 18時半

横浜市開港記念会館2階6号

「東アジア情勢と沖縄」

講師 島 洋子さん(琉球新報編集局経済部長)



政府・防衛省は巨額な税金を投入し、沖縄・辺野古のサンゴの海を土砂で埋め立て、巨大な米軍基地建設を強行しようとしている。沖縄の民意も、県知事の工事停止要請も無視して。なぜこんな無法行為がまかり通るのか。朝鮮半島の南北対話を軸にして東アジアが大きく変わろうとしているいま、沖縄の軍事植民地状況を改めて問い直す。報道現場からの問題提起を受け、共に考えたい。7.20 横浜集会に多くの参加を！(写真はすべて琉球新報記事から)

1967年沖縄生まれ。1991年琉球新報社入社。東京報道部長、政治部長を経て現職。米軍基地が沖縄経済の発展を阻害している側面を明らかにした新聞連載「ひずみの構造—基地と沖縄経済」(琉球新報新書)で、2011年「平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞」。著書に「女性記者が見る基地・沖縄—屈しない沖縄の「心」を見つめて」(高文研)、共著に「女子力で読み解く基地神話—在京メディアが伝ええない沖縄問題の深層」(かもがわ出版)。



▲産卵期に入った辺野古のサンゴ



▲4/25 海上座込み行動



資料代 700円
会場 横浜市開港記念会館2階6号
(JR 関内駅南口10分、みなとみらい線日本大通り駅1番出口1分)

主催: 島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会

★結ぶ会代表世話人: 仲宗根保(鶴見沖縄県人会元幹事長)・高梨晃嘉(元横浜市議)

連絡: 090-7402-5245 檜鼻(県央ユニオン) / 090-4822-4798 深沢(沖縄講座@横浜)